

日本小児科学会医療安全委員会主催

第6回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2017年11月25日(土) 13:30~17:00

開催場所：大阪医科大学附属病院

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

参加費：11,000円(1施設あたり)

参加者数：36名(12施設)

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師12名、看護師13名、放射線技師11名

参加施設：大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、JCHO大阪病院、大阪市立総合医療センター、加古川中央市民病院、高槻病院、大阪警察病院、京都桂病院、耳原総合病院、大阪南医療センター、大阪府済生会千里病院、市立伊丹病院

プログラム内容：

第1部(30分)：座学(共同提言の解説とオリエンテーション)

第2部(50分)：シミュレーション実習(蘇生人形を用いた実践型訓練と振り返り)

第3部(70分)：アクションプランを立てよう(各施設の問題点と課題解決に関する協議)

第4部(45分)：発表・質疑応答(アクションプランの発表、全体で意見交換)

コースの実際：第1部は全員にレクチャー形式でコースの目的と共同提言の要点を伝える場とした。第2部は4つのグループに分かれて、シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種で協議する場を提供した。第3部は、自施設の改善したい課題を1-2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。コースを通して、他施設の現状を知ることによって自施設の強みや弱みが明らかになり新たな気づきを得る機会を提供した。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.22(最低1-最高6)、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.53(同)、「多職種での参加は良かったか？」5.61(同)であった。コース参加前に自施設の実態を充分理解して参加するとより実りあるコースになるとの指摘があった。

コース運営と今後の取り組み：1. 新規のファシリテーターを4名登録した。2. 「小児科専門医研修施設におけるMRI検査時鎮静の現状」を参考に共同提言の改訂に着手する。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98